

2009年1月15日

株式会社 三越 2008年12月上報告

1. 店別状況

店名	(千円) (%)	
	売上高※1	参考前年比※2
全店合計	79,884,868	90.1
日本橋	28,761,907	89.4
新宿アルコット	2,332,985	84.2
銀座	5,591,238	87.6
池袋	2,767,193	87.8
千葉	3,402,063	90.7
仙台	4,703,663	94.7
札幌	4,435,298	94.7
名古屋栄(ラシック舎)	9,691,296	89.7
星ヶ丘	2,275,091	95.7
新潟	2,119,502	91.3
広島	2,221,270	92.1
高松	3,220,138	92.3
松山	2,582,247	91.0
福岡	4,566,014	88.7
鹿児島	1,214,955	87.6

※1 テナント売上高を含みます。

※2 2008年5月より、前年の売上実績を100として比較しています。

2. 商品分類別売上高

		(千円) (%)	
		売上高※1	参考前年比※2
合計		79,884,868	90.1
衣料品	紳士服・洋品	4,251,792	79.9
	婦人服・洋品	11,729,546	82.5
	子供服・洋品	632,979	90.8
	その他衣料品	1,920,919	87.4
衣料品小計		18,535,236	82.6
身の回り品		9,194,794	80.3
家庭用品	家具	913,897	86.8
	電器	171,342	78.5
	その他家庭用品	2,120,361	88.3
家庭用品小計		3,205,600	87.3
食料品		32,494,763	96.1
食堂・喫茶		1,113,957	95.6
雑貨		10,515,785	82.7
サービス		133,322	54.9
その他		1,348,774	72.9
テナント売上		3,342,637	255.6

3. 商況概況

<12月商況>

- 12月は、土日各日1日減の中、各店とも顧客向けの集客策で来客数は順調に推移したものの、先月に引続き景況感悪化による影響もあり売上は低調だったほか事業部門も伸び悩み、全店合計の売上前年比は90.1%となった。衣料品では、トレンド感や付加価値のある冬物を中心に展開し一部効果は見られたものの、気温が高めに推移したこともあり重衣料の動きが活発化せず、全般的には低調であった。宝飾品や特選ブランドなど高額品も引続き苦戦。一方、食品は、お歳暮やおせち、クリスマスケーキ需要が下支えし、堅調に推移した。
- 日本橋本店では、食品部門は引続き堅調に推移したものの衣料品や特選雑貨が伸び悩んだ。婦人衣料では前半のレディースファッションウィークや後半のジャストシーズンコレクションなど施策の成果が見られたが、重衣料の動きが本格化せず低調に推移。来客数は前年を上回ったものの、売上前年比は89.4%となった。
- 銀座店は、クリスマス商戦では化粧品やケーキが好調だったもののアクセサリーや宝飾品が伸びず、盛り上がり欠けた。主力の衣料品も引続きコートなど冬の実需アイテムが苦戦した。来客数は若干マイナスでとどまったが改装工事に伴う一部売場閉鎖の影響もあり、売上前年比は87.6%となった。
- 名古屋栄店は、お歳暮やおせちは堅調に推移したものの、クリスマス商戦は宝飾品や特選ブランドの動きが鈍く苦戦した。主力の婦人雑貨や婦人衣料も引続き低調だったことが影響し、売上前年比は89.7%となった。

<その他>

- 「スイート&クラシック」をテーマに、ハレタインフェアを各店にて1月20日(火)より順次展開。洋菓子職人協会「ル・デセール」のアソートや各国の「王室御用達ブランド」が楽しめるアソートなど、日本初登場や三越限定の商品を中心に、希少性が高くこだわりを追求した商品を多彩にご用意。日本橋本店、銀座店などでは2月3日(火)から15日(日)まで、特設会場を開設。銀座店では昨年好評だったショコラコンシェルジュを2名から3名に増員。会場に常駐し、お客様のご相談やご質問に応じる。

2008年3月より、報告する売上高にテナント売上を加えて、同じ基準で比較して前年比としています。三越各店でテナントも含めた店舗の全てのフロアでお客様がお買物される金額をお店の販売額と捉えるためであると同時に、統計の継続性を保つためです。

本件に関するお問合せ先は
 (株)三越伊勢丹ホールディングス 管理本部総務部コーポレートコミュニケーショングループ
 TEL03-5843-6041 FAX03-5843-6040
 (株)三越 総務室 広報担当
 TEL03-3274-8007 FAX03-3241-5298